



「あゆみ」の見方！

も通知表「あゆみ」の趣旨等を深くご理解いただき、きたいという思いで、本年度もお知らせいたします。

昨年度も松北だより「笑顔」に掲載させていただいております「あゆみ」の見方。松北の保護者の皆様には、どの学校の保護者よりこの「あゆみ」を最大限に有効活用していただき



北九州市立小学校の通知表「あゆみ」の表紙には、以下のような説明があります。

通知表「あゆみ」について

- 1 通知表「あゆみ」は、お子様の学校での生活や学習の様子などを学期ごとにまとめてお知らせするものです。お子様のよさや可能性を伸ばし、確かな学力を付けていくために、学校と家庭とが連携し合い、お互いに温かい指導を積み重ねていくことを目指しています。
- 2 ご家庭で、お子様といっしょにご覧いただき、お子様のよい点や進歩している点、努力してほしい点について誉めたり、励ましたり、元気付けたりして、やる気を起こさせる資料にしてください。

1に書かれているように、この「あゆみ」は、お子様の学校での生活や学習の様子という、あくまでも一側面を評価したものです。ご家庭等において見られる様子とは、違うこともある、むしろ違うことの方が多い、と言ってもよいかもしれません。そういうことを踏まえた上で、学校と家庭とが力を合わせ、様々な角度からお子様を評価し、見守り、育てていきたいものです。

2に書かれているように、是非、やる気を起こさせる資料としてご活用ください。

子どもたちに何かを強制的にさせたり、無理やりに教え込んだりすることは、ある意味では簡単なことかもしれませんが、それでは真の成長は望めないことは明らかです。知識等ならまだしも、やる気は教え込むことはできません。引き出すものです。そして、そのやる気を起こさせるための有効な手段が、適切に誉めたり、励ましたり、元気付けたりすることです。ただ、むやみに誉めても、あまり効果は上がりません。誉めるべきところ、頑張ったと子ども自身が思っているところを、誉めるべきタイミングで適切に誉める。これが意外と難しいものです。でも、私たち大人は、そこを頑張っていきましょう。各担任は、この「あゆみ」がそのための有効な資料となるよう、時間をかけ、思いや願いを込めて作成に当たります。どうか、うまくご活用いただければと思います。

7月 笑顔でやる気・本気・根気を見せて！暑さに負けず、しっかり学習のまとめをしよう！

【あしがき】

6年生が総合的な学習で「豊寿園」の皆さんとの交流を行っています。これまで、3回の交流を行いましたが、6年生の優しさや思いやりがあふれた交流となりました。交流するおばあちゃんやおじいちゃんたちは、「認知症」の方が多いです。子どもたちの姿を見て、昔を懐かしみ、ご自分のお子さんのことを思い出したり、学生時代のことを思い出したりするようです。「よく来たねー。」と言って、子どもの手を握り、笑ったり泣いたりしながら喜ばれます。また、ご病気で亡くなったお子さんを思い出して「勉強も大事だけど命は大切にしよう。」と、涙ながらに語る方もいらっしゃいます。そのような出会いの中で子どもたちは、皆さんに喜んでもらおうと、歌を歌ったり、ゲームを考えて一緒に楽しんだりしています。相手の思いを汲み取り、思いやりや優しさをもって人とかかわる大切な学習となりました。18日(木)が最後の交流です。

